

ENDO 遠藤工業株式会社

〒959-1261 新潟県燕市秋葉町 3 丁目 14 番 7 号
TEL:0256-62-5133 FAX:0256-62-5772
<https://www.endo-kogyo.co.jp>

事業所情報につきましては、
二次元バーコードよりご確認ください。



ENDO ENDO KOGYO CO., LTD.

3-14-7, Akiba cho, Tsubame, Niigata 959-1261, Japan
<https://www.endo-kogyo.co.jp/english> TEL: 81-256-62-5133

- 本書ならびに本商品の仕様は改善のために予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容の無断転載を禁止します。
- This manual and the specifications of this product are subject to change for improvement without advance notice.
- It is strictly prohibited to reprint or copy any information contained in this manual.

取扱説明書 INSTRUCTION MANUAL

プレントロリ PLAIN TROLLEY

PTF-60

警告

- ・人の運搬用として、トロリは絶対使用しないでください。
- ・この取扱説明書は使用者に必ずお渡しください。
- ・使用する前に必ずお読みください。
- ・この取扱説明書を大切に保管してください。

WARNING

- ・ Never use the trolley for transporting people.
- ・ Supply this manual to the user.
- ・ Read this manual before installation, operation, or maintenance.
- ・ Keep this manual available.

遠藤工業株式会社
ENDO KOGYO CO., LTD.

ENDO

BM-10017b

Issued on March 2016

取扱説明書に関する著作権と責任

付属する取扱説明書の著作権は当社にあります。

取扱説明書は、本商品の安全な運用をサポートすることを目的に限定して提供されるものであり、この目的以外に使用することはできません。

当社から事前に許可を受けることなく、上記の目的以外に取扱説明書の全部または一部を、使用および複製することはできません。

また、取扱説明書の全部または一部を他の言語に翻訳したり、書き換えることも禁止されています。

なお取扱説明書に記載されている内容は、将来予告なしに変更することがあります。あらかじめご了承ください。

遠藤工業株式会社

Copyright and liabilities

The copyright for this manual belongs to Endo Kogyo Co., Ltd.

The manual is provided for the limited purpose of supporting the safe and proper use of the product. It cannot be used for other purposes.

The customer may not use or make copies of this manual, in whole or in part, outside of this purpose without receiving prior consent from Endo Kogyo Co., Ltd.

The customer is also prohibited from translating or modifying the content of the manual, in whole or in part.

The content described in the manual is subject to change without advance notice.

Please note this in advance.

ENDO KOGYO CO., LTD.

Copied digital data
from <https://www.endo-kogyo.co.jp/>

アラート・シンボル・マーク及び警告サインの適用について

この取扱説明書を注意深く読み、その指示に従ってください。

この取扱説明書において、アラート・シンボル・マーク (▲) 及び警告サイン (「警告」、「注意」、「留意」) はそれぞれ次のような特別の意味を表しています。



このアラート・シンボル・マークは、この装置の使用に伴いあなたや他の人々に危険をおよぼすおそれのある事項や操作について、あなたの注意を喚起しています。
このアラート・シンボル・マークの付いている指示を注意深く読み、その指示に必ず従ってください。



警告： 死亡または重傷事故の潜在的な危険がある。



注意： 軽傷または中程度の傷害事故が発生する危険があるか、または装置などの財物損傷のおそれがある。

留意： 装置の運転や保守時における留意事項を示す。

SAFETY ALERT SYMBOL AND ALERT SIGNS

Please read this manual carefully and follow its instructions.

The SAFETY ALERT SYMBOL (▲), WARNING, CAUTION, and NOTE carry special messages.



This SAFETY ALERT SYMBOL is used to call your attention to items or operations that could be dangerous to you or other persons using this equipment.

Please read these messages and follow these instructions carefully.



WARNING : WARNING indicates a hazardous situation which, if not avoided, could result in death or serious injury.



CAUTION : CAUTION indicates a hazardous situation which, if not avoided, could result in minor or moderate injury, damage or destruction of the equipment and others.

NOTE : NOTE indicates a special instruction in operation or maintenance.

商品の保証と責任の範囲

1. 保証期間中の正常な使用において発生した、製造上の責任による本商品の故障は、無償で修理または商品の交換を行わせていただきます。その際は、ご購入の販売店または当社に問い合わせください。
2. 次の場合は保証効力が消滅します。
 - 1) 所有者が変更になった場合。
 - 2) メーカーならび代理店・取扱店以外で修理、または改造が行われた場合。
3. 保証期間は、本商品のお買い上げ後1年間とします。
但し、消耗品は除外いたします。
4. 次の場合は、保証期間中であっても有償修理となります。
 - 1) 誤った使用による故障または損傷
 - 2) 純正部品以外の部品使用に起因する故障または損傷。
 - 3) 火災、地震、天災、地変、その他不測の事故による故障または損傷。
 - 4) 落下、衝撃など、不注意による事故や保存上の不備によるもの。
 - 5) 本商品以外の部品またはその他の機器による原因によって生じた故障または損傷。
 - 6) 消耗品を取り換える場合。
 - 7) 取扱説明書あるいは警告ラベルに明記してある危険・注意事項に違反して使用した場合。
 - 8) その他、メーカー側の責に帰さない原因による故障または損傷。
5. 機械損失などの補償責務の除外
保証期間内外を問わず、当社商品の故障に起因する、貴社あるいは貴社顧客など、貴社側における機械損失ならびに当社商品以外への損傷、その他業務に対する保証は、当社の保証外とさせていただきます。

Scope of warranty and liabilities for the equipment

1. We will repair or replace the product free of charge if a failure due to manufacturing defects occurs under proper usage during the warranty period.
For details, contact us or your dealer.
2. The warranty will be void in the following cases:
 - 1) Change in ownership.
 - 2) Repair, adjustment, or modification performed by a party other than the manufacturer, agents, or dealers.
3. The warranty period is one (1) year from the date of purchase except for consumables.
4. Repairs applicable to any of the following shall be charged even during the warranty period:
 - 1) Failure/damage caused by incorrect use.
 - 2) Failure/damage caused by use of non-genuine parts.
 - 3) Failure/damage caused by fire, earthquake, natural disaster, or other unexpected incident.
 - 4) Incident caused by fall, shock, negligence, or by inadequate storage.
 - 5) Failure/damage caused by use of parts or other equipment that are not included in this product.
 - 6) Replacement of consumables.
 - 7) Usage in violation of dangers or cautions stipulated in this Instruction Manual or the warning labels.
 - 8) Failure/damage caused by any reason that is not attributable to the manufacturer.
5. Warranty exclusions such as mechanical loss.
Either during or after the warranty period, mechanical loss, damage to anything other than our product(s), or other duties incurred on you/your customer as a result of the failure of our product(s) are outside the scope of the warranty.

1. ⚠ 安全にお使いいただくためのご注意

トロリの使い方を誤ると、つった荷物の落下など、危険な状態になります。

据え付け・取り付け・運転・操作・保守点検の前に、必ずこの取扱説明書を熟読し、正しくご使用ください。

機器の知識、安全の情報、そして注意事項のすべてについて習熟してからご使用ください。

⚠ 警告

- 人の運搬用として、このトロリは絶対に使用しないでください。
- 取扱説明書の内容を熟知しない人は使用しないでください。
- 据え付けは、専門業者、専門知識のある人以外絶対に行わないでください。
- トロリを設置する場所に十分な強度があることを確認してください。
- 作業開始前の点検や定期点検を必ず実施してください。
- 定格荷重を超える荷は絶対につらないでください。
- つり荷の下や進路方向（通り道）に入らないでください。また、人の頭上を越えて荷を運搬しないでください。
- 損傷を受けたり、異音がするトロリは使用しないでください。
- 保守点検、修理は、事業者が定めた専門知識のある人が行ってください。
- 製品及び付属品の改造は絶対にしないでください。
- 他の製品と組み合わせて使用する場合は、その製品の取扱説明書も必ずお読みください。
- この取扱説明書は、据え付け・使用・管理するすべての人が利用できるように保管してください。

2. 製品の確認

- 1) ご注文どおりの製品が届いたか確認してください。製品の銘板をお確かめください。
- 2) 製品が運送中の事故などで変形・破損していないかどうか確認してください。
- 3) 割ピンが取扱説明書に同梱されていますので確認してください。

3. 仕様

型 式	容 量 (kg)	ビーム幅 (mm)	質 量 (kg)
P T F - 6 0	6 0	7 5	0. 8

使用条件 周囲温度：－10℃～＋50℃

1. ⚠ Safety Instructions

If the trolley is not used correctly, a serious accident may occur, such as dropping the load.

For correct use, carefully read this manual before installation, operation, maintenance or inspection.

Have full knowledge of equipment, safety information and instructions before using the trolley.

⚠ WARNING

- Never use the trolley for transporting people.
- Never operate the trolley unless the contents of this manual are completely known.
- Always employ specialists or well trained persons for installation.
- Always check the supporting structure for the trolley has enough strength.
- Always check the trolley before operation, and inspect it periodically.
- Never lift a load greater than the rated capacity of the trolley.
- Always stand clear of the load. Never walk under a suspended load, and keep out of its area of projection. Never carry loads over people.
- Never operate the trolley when damaged or abnormal sound occurs.
- Always employ specialists or well trained persons for maintenance, inspection and repair.
- Never alter the trolley or its accessories.
- When using the trolley with other equipment, read the instruction manual for that equipment.
- Keep this manual available for all of the people who will install, operate or maintain the trolley.

2. Checks of the Product

- 1) Check the delivered trolley is what you ordered (check the name plate).
- 2) Check there was no damage or deformation on the trolley during transportation.
- 3) Check the split pins are enclosed with this manual.

3. Specifications

Model	Rated load (kg)	Adaptable beam width (mm)	Mass (kg)
P T F - 6 0	6 0	7 5	0. 8

Working conditions Temperature range：－10℃ to ＋ 50℃

4. 据え付け

警告

- 据え付けは専門業者、専門知識のある人以外絶対に行わないでください。
- トロリを設置する場所に十分な強度があることを確認してください。
- トロリ落下防止のため、レールの端には必ずストッパを取り付けてください。
- 割ピンを分解したときは、常に新しいものと交換し、組み立て時にしっかりと曲げてください。

■レールへの取り付け

- 組み立てた状態でレールの端から取り付けるのが一番確実な方法です。
- 組み立てた状態でレールの端から取り付けられない場合
シャフトのナットを外し、レールの走行面に乗せてから再び組み立ててください。
同梱されている新しい割ピンを取り付け、しっかりと曲げてください。

■ストッパの取り付け

- ストッパの製作は表-1と図-1を参照し、取り付け位置はホイール（車輪）の大きさに合わせて決めて下さい。
- ストッパは、レールと色を変えると目立って衝突防止に役立ちます。

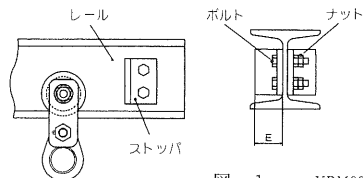


図-1 YBM000037

表-1

レール巾	等辺山形鋼 (L形鋼)	E	ボルト ナット
75	50×50×6	35	M12

5. 使用上の注意

警告

- 定格荷重を超える荷は絶対につらないでください。
- つった荷には乗らないでください。また人の乗る用途には絶対使用しないでください。
- つり荷の下や進路方向（通り道）に入らないでください。また、人の頭上をこえて荷を運搬しないでください。
- 斜め引きをしないでください。トロリフレーム変形の原因となります。
- トロリをI形鋼（レール）のストッパや構造物に衝突させないでください。また、同一レールに2台以上取り付けて使用する場合も、トロリ同士を衝突させないでください。
- 使用中に異常を感じたときは、直ちに使用を中止し、適正な処置をしてください。
損傷を受けたり、異音がするトロリは使用しないでください。
- 他の製品と組み合わせて使用する場合は、それぞれの取扱説明書に従い実施してください。

6. 作業開始前の点検

警告

- 作業開始前の点検を必ず実施してください。
- 異常があったときは直ちに使用を中止し、適切な処置をしてから使用してください。異常なままでの使用は、人身事故につながり大変危険です。絶対に使用しないでください。

- トロリのフレーム及びシャフト（つり軸、つり金具）が変形していないこと。
- 走行させたとき異音やガタガタしないこと。
軽い力で走行し、全体の動きが滑らかであること。
- ボルト・ナット・割ピンなどが脱落したり、ゆるんでいないこと。
- 走行レールが変形や損傷していないこと。また、ストッパが変形や脱落していないこと。

4. Installation

WARNING

- Always employ specialists or well trained persons for installation.
- Always check the supporting structure for the trolley has enough strength.
- Always install stoppers at the rail ends to prevent the trolley from falling.
- Always replace the split pins with new ones when removed, and securely bend the split pins.

■ Installation of the trolley on the rail

- Install the trolley from the rail end.
- If the trolley cannot be installed from the rail end:
Disassemble the trolley by loosening the nut which is fixing the shaft. Install the trolley on the rail and reassemble. Attach new split pin, which is packed with this manual, and securely bend the split pin.

■ Installation of stoppers at the rail ends

- Prepare stoppers according to Table 1 and Figure 1. Decide the mounting position depending on the wheel size.
- Painting the stoppers with the color different from the rail is recommended to call attention for avoiding collision.

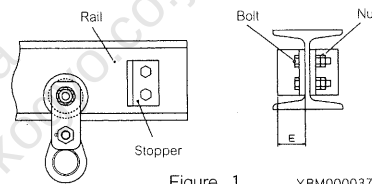


Figure 1 YBM000037

Table 1

Rail width	Dimensions of L section	Dimension E	Size of bolts and nuts (mm)
75	50×50×6	35	M12

5. Safety Instructions on Use

WARNING

- Never lift a load greater than the rated capacity of the trolley.
- Never stand on a suspended load. Never use the trolley for transporting people.
- Always stand clear of the load. Never walk under a suspended load, and keep out of its area of projection. Never carry loads over people.
- Never pull a load at an angle. Pulling a load at an angle may cause deformation of the trolley frame.
- Never allow the trolley to collide with the stoppers on the I-beam (rail) or the structure.
Never allow the trolley to collide with other trolleys when two or more trolleys installed on the same rail.
- If a malfunction occurs during the operation, stop operation immediately and take the necessary steps to rectify the problem. Never operate the trolley when damaged or abnormal sound occurs.
- When using the trolley with other equipment, read the instruction manual for that equipment.

6. Checks before Operation

WARNING

- Always execute the following checks at the beginning of operation.
- If a malfunction occurs during the operation, stop operation immediately and take the necessary steps to rectify the problem. Never operate the trolley if damaged or malfunctioning. This is a serious hazard and could result in personal injury or death.

- Check the frames and shaft of the trolley are not deformed.
- Check the trolley is not abnormally noisy or vibrating when traveling. The trolley should move without effort and the movement should be smooth.
- Check bolts, nuts and split pins are not missing or loose.
- Check the rail is not deformed or damaged. Check the stoppers are not missing or deformed.

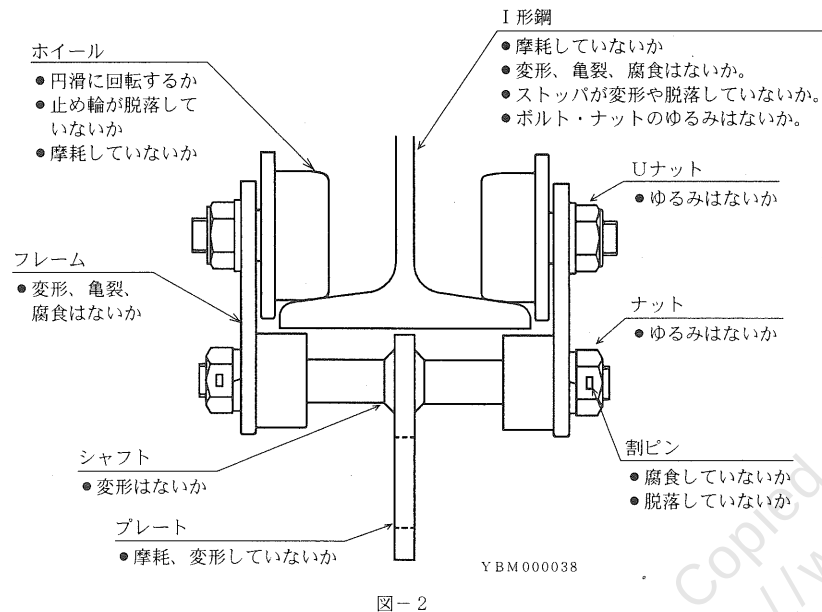
7. 定期点検



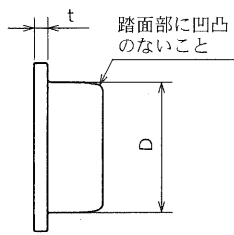
警告

- 定期的にトロリの点検を行ってください。

■少なくとも毎月一回以上は点検をして、不具合な箇所は適正な処置を行ってください。
使用環境の悪い場所や使用頻度の多いときは、点検の間隔を短くしてください。
(図-2 参照)

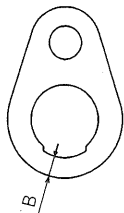


■ホイールの摩耗量の限度



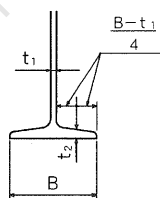
	使用限界 (mm)
D	37
t	3

■プレートの摩耗量の限度



	使用限界 (mm)
B	8

■レールの摩耗量の限度



	使用限界
B	原寸の 95 %
t ₂	原寸の 90 %

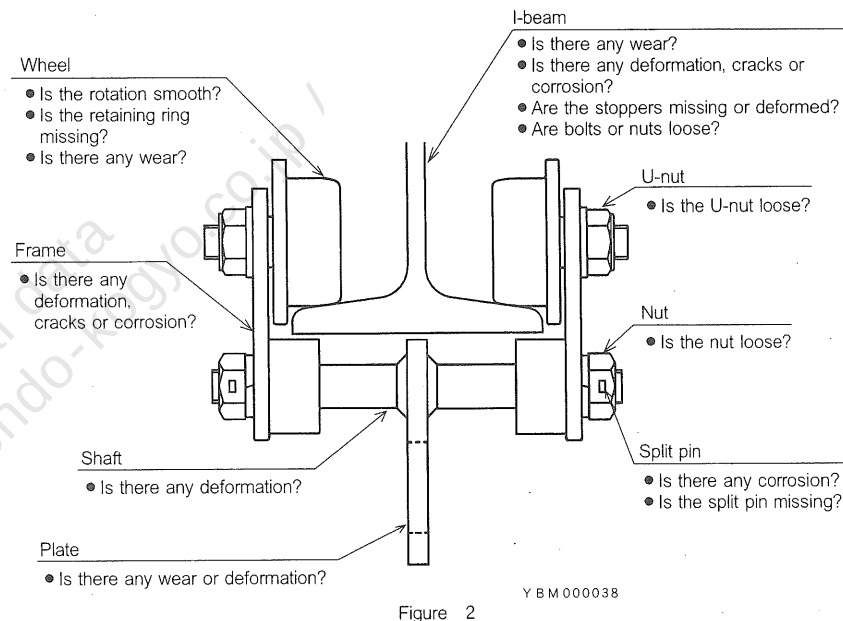
7. Periodic Inspections



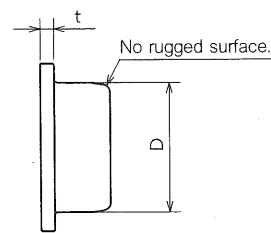
WARNING

- Periodically inspect the trolley.

■Inspect the trolley at least once a month.
Correct and repair any problems which are detected. Make the inspection interval shorter when operating frequently or under hostile environments. (See Figure 2.)

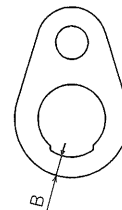


■Wear Limit of Wheels



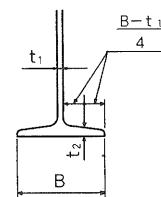
	Service Limit (mm)
D	37
t	3

■Wear Limit of Plate



	Service Limit (mm)
B	8

■Wear Limit of Rail



	Service Limit
B	95% of original
t ₂	90% of original